平成24年5月1日発行 第214号

長崎ほいくだより

No.214
2012.5

発行人　谷　川　和　啓
編集人　古　場　むつ美
購読料　一　部　55円

発行：社団法人　長崎県保育協会　長崎市茂里町3番24号　長崎県総合福祉センター 3F　TEL.095-846-8871

頭・肩・膝ポン

1. 膝はどこ

「頭・肩・膝ポン　膝ポン・膝ポン　頭・肩・膝ポン　目・耳・鼻・口」皆さんは、この歌をお子さんと一緒に歌ったことがありますか。膝ポンのところで、太ももをたたいていませんか。またいつも目・耳・鼻・口で終わっていませんか。肩、背中、胸、肘など変化させて歌うと、幼児は自分の体に関心をいだくようになるのではと思います。

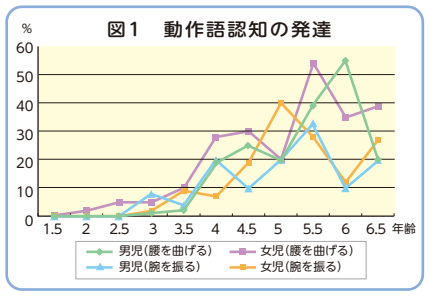
表1は長崎市の1歳後半から6歳後半の幼児689名に面接して「膝はどこですか。手で触ってちょうだい」と21の身体部位の認知を調べた結果です。紙面の都合上2歳後半から6歳後半の主な部位の成就率を抽出しています。全国平均では就学前に80％以上認知しているといわれますが、6歳後半の男児では、胸・腕・肘・手首・膝・足首・踵（かかと）・爪先（つまさき）は80％に達していませんでした。

体の事実に関する知識は、日頃の生活のなかで情報を与えることによって獲得されます。たとえば8か月ごろの乳児に「膝を洗いましょう。ゴシゴシ」とその部位を刺激しながらことばかけを繰り返しますと、1歳6か月ごろにはことばかけだけで膝を洗えるようになります。12～18か月ごろの幼児は、体に関するあらゆることに好奇心が強い時期です。幼児が体に興味・関心をいだき始めるこの時期に、自分の体を知るという身体意識の働きかけが、家庭や集団保育の場で見直され、実践されることが肝要でしょう。

表1　身体部位認知の成就率

年齢		人数	胸	腕	肘	手首	膝	足首	かかと	爪先
2.6～2.11	男児	51	3.4	5.8	11.5	1.9	32.7	1.9	3.9	5.8
	女児	38	5.3	2.6	2.6	0.0	29.0	2.6	0.0	0.0
3.6～3.11	男児	67	16.4	22.4	16.4	7.5	40.3	3.0	1.5	6.0
	女児	50	22.0	44.0	36.0	6.0	58.0	4.0	10.0	10.0
4.6～4.11	男児	35	51.4	28.6	40.0	25.7	68.6	28.6	20.0	25.7
	女児	23	47.8	21.7	30.4	17.4	65.2	26.1	8.7	13.0
5.6～5.11	男児	17	83.3	61.1	44.4	16.7	66.7	22.2	22.2	27.8
	女児	16	87.5	62.5	37.5	25.0	81.3	37.5	37.5	43.8
6.6～6.11	男児	16	75.0	62.5	50.5	50.0	68.8	50.0	37.5	50.0
	女児	16	100.0	75.0	37.5	37.5	87.5	25.0	62.5	62.5

また運動遊びでは「膝を曲げましょう」などと指示しますが、幼児がどの程度動作語を認知しているかを把握していないと、言語教示に的確さを欠くことになります。図1は歩く・跳ぶなどの動作語認知の発達です。「腰を曲げてちょうだい」では腰を前に曲げれば正解としましたが、6歳後半でも18％しか理解していませんでした。この動作に対して幼児は後ろに反る・膝を曲げる・腰をピンと伸ばす・回る・手をあげる・肘を曲げる・体をひねるなど様々な動作をしました。



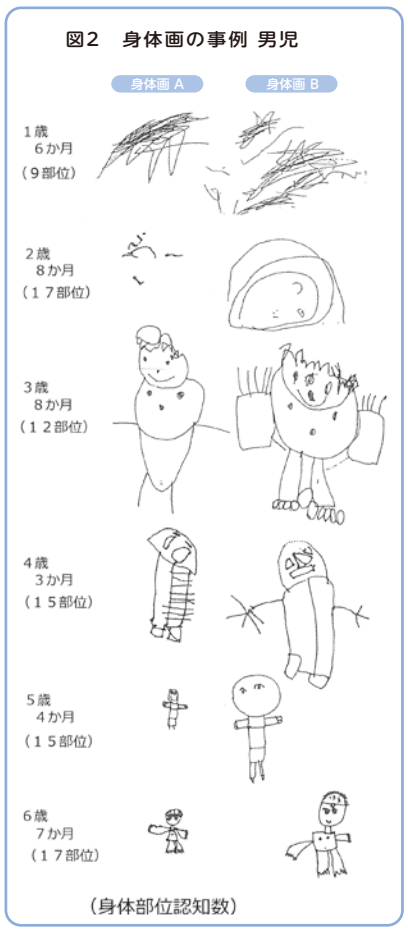
このことから「曲げるところはどこ」などと運動を行う起点である関節部位の認識と、前後の方向を明確にすることばかけが重要であることが示唆されました。また「腕を振る」は肩から振ることを正解としましたが、3歳台では10％以下、6歳後半でも20％前後でした。このように身体部位を認知していても、指示された動作ができない傾向にありました。動作語は5歳児で約100語理解しているといわれますが、一人ずつ面接しますと、日常何気なく使われている動作語の理解が不十分でした。身体部位と同様に基本的な動作についても丁寧に教え導くことが重要でしょう。

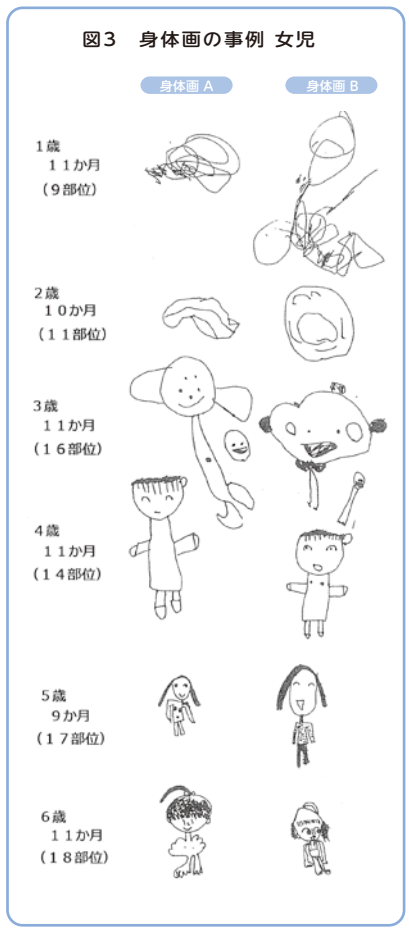
2. 体を描いて

図2・3は等率に縮小した身体画の事例で、身体活動の基礎である自分の身体をどの程度描けるか、また身体部位を教示することによって、身体画がどのように変化するか調査しました。「身体画A」は「お風呂に入るとき、裸になるでしょう。あなたの裸の絵をみんな描いてちょうだい」と教示しました。「身体画B」は身体画Aを回収した直後に「先生の体を見てちょうだい。ここは頭でしょう」などと頭・首・胴・腕・手・脚・足の7部位の情報提示を行ってから描いてもらいました。

身体画Aと身体画Bの比較では、身体画Bの方が具体的な情報提示によって、身体部位が増加し、身体画も大きくなる傾向を示しました。これは体の事実に関する知識を得てイメージが明確になった結果と考えられました。このように1回の情報提示によって体のイメージを明確にもたせる言語教示の有効性が示唆されました。着衣の人物画を描く機会は日々の保育活動や家庭でも多々ありますが、裸の身体画を描くことによって、身体部位の認知にとどまらず、体の構造やその働きを理解する動機づけにもなるでしょう。

また身体像は個人的な特徴、自分自身について感じていること、他人が自分をどのようにみているかなどに左右されます。特に自分自身を弱小で無意味な者に感じるために、自分を小さく描く場合があります。幼児にとって絵を描くことは、感情表現であり生活そのものを反映させたこころの記録でもあります。身体画に現れたこころの表現を受け止めてあげたいものです。





県立長崎シーボルト大学
名誉教授
松永　恵子

ご卒園おめでとうございます。卒園式から早いもので約1か月が経ちました。新1年生として頑張っている昨年度の卒園児達は、学校に慣れたでしょうか。保育園に隣接している学童クラブに通う子が数名いるので、陰ながら子ども達の様子を観察しています▼学童クラブとは、労働等の事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中に保護者に代わって保育を行うところで、利用される方も増えてきているようです▼学童では、保育園と違って倍近くの年齢差があります。勉強、スポーツ遊び等々、様々なことを教えてもらえるようです。早くお兄さんやお姉さん、同級生と仲良くなって欲しいと思います▼小学校と違い、学童は家庭的な雰囲気のなかで生活しますので、ちょうど小学校とご家庭の中間みたいな所でしょうか。一つの保育園卒児ばかりではないので、同級生、同世代と遊ぶことが増えるようです▼小学校から、日々の学校生活の様子や交友関係など、連絡帳のみのやり取りが多くなると思います。その点学童では、子ども達に見つからない限り、学童内でのやり取り、交友関係など見ることができますし、指導員の先生から直接聞くことができます▼昔は、近所のお兄さんやお姉さんがいて、一緒に遊んでくれていました。ですが、現在はなかなかそうもいきません。その昔の感覚と近いものが学童にはあるのかもしれません。幼少期から学童期までの生活環境をより良いものにできるよう、保育園、小学校、学童と協力し、連携を高めていきたいと思います。（N・Y）

長崎ほいくだより

発行：社団法人　長崎県保育協会　長崎市茂里町3番24号　長崎県総合福祉センター 3F　TEL.095-846-8871

購読料　一　部　55円

続きは、お買い求めいただきご購読下さい。
お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介

■ **つれづれ**

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ **保育のひろば**

- 地域との交流

  各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

- ランチタイム

  給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

- 保育園めぐり

  県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ **すこやかなそだち**

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ **読者のひろば**

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ **であい**

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ **ＺＯＯ夢イン　家族のお出かけスポット情報**

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ **つぶやき**

■ **わんぱく写真館**

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ **え？！絵本**

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。